

組合ビジョン・中期計画策定
協同組合関西ファッション連合

協同組合関西ファッション連合では、大阪府の平成27年度組合等事業向上支援事業における「組合ビジョン・中期計画作成支援」に取り組み、事業計画を作成しました。

組合設立10周年を検証し、次の10年の振興のための基礎固め・体制づくりという基本的考えのもとに事業を実施した結果、組合としての重点取組事項として①関西ファッション産業の新生ビジョンの検証（次の10年に向けてのビジョン構想の準備として、組合発足時の「関西ファッション産業の新生ビジョン」の実現状況や、現状活動との適合性等について検証する。）②事業カテゴリーの見直し（組合員企業視点で、事業カテゴリーを区分整理して共通的な事業、個別事業の観点での事業の取捨選択を行う。）③情報発信力の強化（情報発信力強化のために、組合職員の企業担当制、情報発信ツールの多様化（メール活用）等に取り組む。）に取り込むことにつながり、組合の存在意義とメリットを明らかにすることが可能となりました。

次の10年に向けての課題

KanFAの現状の問題点としては、運営負荷の増大、全体での情報共有不足、対外的な知名度不足、低水準の参加率、従業員間における認知度不足等がある。また、前項のKanFAの現状から、次の10年に向けての課題としては、以下の3点が挙げられる。

1. 全体ビジョンの発信

- 全体ビジョンの発信力の強化によって対外的な知名度向上と、組合員企業へのビジョンの浸透を図る。

2. 情報発信力の強化

①情報の流れの多重化・双方向化による情報の共有・浸透

- 情報のハブ化（結節点づくり）によって、各委員会の活動状況の情報共有化を促進する。
- 組合員企業との接点を増やし、組合と組合員企業との関わりを点から面へと広げていく。

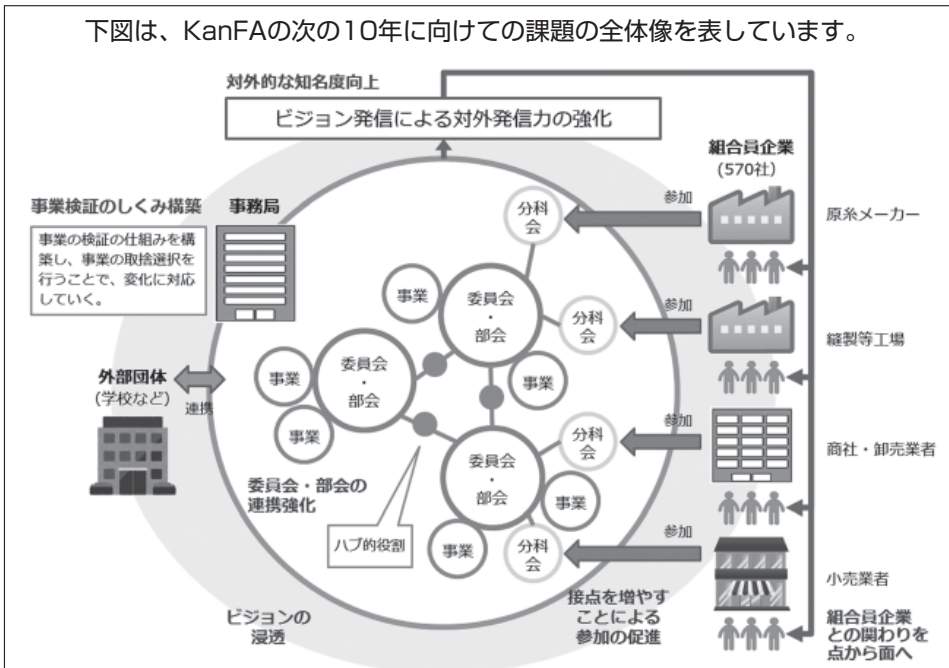
②コミュニケーションデザインの強化

- 伝えるためのストーリー化（基本理念－事業目的－個々の活動内容）を行う。
- ビジュアル等を活用したわかりやすい伝え方とする。

3. 変化対応力の強化のための事業の取捨選択（新陳代謝）のしくみ作り

- 事業がその目的を達しているのかどうかを検証するしくみを構築する。（一年単位）
- そのためには、事業ごとに目的・評価基準（目標値）・中止基準を事前に明確化しておく。（狙いを達成しているかどうか）
- 評価には、費用対効果の観点を含める。
- 組合員企業が参加できるオープンな場での成果発表会を開催する。
- さらに進化させること、改善すべきこと、止めること、つけ加えるべきことの4つの視点で各組合員企業が意見を言える場を作る。
（組合員企業が「自社にとって継続してほしい」事業かどうか）

下图は、KanFAの次の10年に向けての課題の全体像を表しています。



2016年度組合ビジョンと重点取組事項

前項の次の10年に向けての課題から、2016年度組合ビジョンと重点取組事項を以下とする。

2016年度 KanFAビジョン 次の10年のビジョン・基盤・体制・しくみを作る

重点取組事項

- 1 **関西ファッション産業の新生ビジョンの検証** 次の10年に向けてのビジョン構想の準備として、KanFA発足時の「関西ファッション産業の新生ビジョン」の実現状況や、現状活動との適合性等について検証する。
- 2 **事業カテゴリーの見直し**

仲間づくり
ネットワーク
づくり支援

人づくり
支援

ものづくり
支援

市場づくり
顧客づくり
支援

組合員企業視点で、事業カテゴリーを4区分に整理する。合わせて、共通的な事業、個別事業の観点での事業の取捨選択を行う。
- 3 **情報発信力の強化**

KanFA職員の
組合員企業
担当制

情報発信
ツールの
多様化

情報発信力強化のために、KanFA職員の企業担当制、情報発信ツールの多様化（メール活用）等に取り組む。

上記取組の中で、組合の存在意義とメリットを明らかにしていきたいと考えている。

実施事項・スケジュール

実施事項・スケジュールについては下表の通り計画している。

課題		重点取組事項	1Q	2Q	3Q	4Q
全体ビジョンの発信		関西ファッション産業の新生ビジョンの検証	検討プロジェクトの立ち上げ	実現状況の検証	活動内容との適合性検証	次の10年に向けてのビジョン検討
情報発信力の強化	情報の流れの多重化・双方向化による情報の共有・浸透	KanFA職員による組合員企業担当制の実施	担当企業への訪問等による関係構築		コミュニケーション強化によるニーズの吸い上げ	
	コミュニケーションデザインの強化	情報発信ツールの多様化	メール等の活用		有効性の検証	メール等の活用 有効性の検証
変化対応力の強化のための事業の取捨選択のしくみ作り		事業カテゴリーの見直しと事業の取捨選択	事業カテゴリーの見直しと事業の取捨選択		事業の取捨選択のルール作成	

<伝え方の工夫>

- ①全体像－個別内容の関係性を明確にする。
- ②ストーリーで伝える。（現状→課題→方向性・ビジョン→具体的内容）
- ③身近に感じられる工夫をする。（平易な言葉を使用した読みやすい内容とする。組合員企業の声を伝える。ビジュアルを活用する）